

南開大学との交流協定締結記念小特集

大妻女子大学比較文化学部は、2006年3月10日、中国南開大学と交流協定を締結した。交流協定調印のため、比較文化学部から6名の教員が南開大学を訪問。調印後、協定締結を記念して、南雲智教授と塚本明子教授が以下の講演を行なった。

南雲 智 「私はなぜ『魯迅日記の謎』を書いたのか」

塚本明子 「字と絵：書の記号学」 小特集1

また、3月9日には、北京の中国社会科学院主催のシンポジウム「東アジアにおける政治思想：過去・現在・未来」に6名全員が参加して以下の発表を行なった。

井田進也 「辛亥革命前夜中国におけるルソー『民約論』の数奇な運命」 小特集2

斉藤恵子 「岩倉使節団（1871年—1873年）の見た東アジア」 小特集3

大隅晶子 「明代の東アジア世界」 小特集4

塚本明子 「『専門家』と民主主義」

南雲 智 「胡風『回想録』の意義」 小特集5

王 颯 中国社会科学院文学研究所研究員、中国近代文学学会副会長

「南雲智先生の発表に対するコメント」 小特集6

銭 国紅 「東アジアの知識人に見る国家理念と伝統」 小特集7

以上の発表から7篇をここに掲載する。



大妻女子大学・中国南開大学交流協定調印式（天津南開大学）
2006年3月10日



中国社会科学院におけるシンポジウム（北京）
2006年3月9日